

## 英語と社会（歴史総合）の合科学習指導案

### 近代日本の“Boys be ambitious”の意味をさぐり、現代を考える

授業者：長 連太郎（英語）・谷口 晋介（社会）

- 1 実施日時・場所：令和6年8月27日(火)5限目 中学校舎2階特別教室
- 2 実施科目：英語・社会（歴史総合）
- 3 学年・クラス：高校第1学年C組
- 4 単元名：“Boys be ambitious”と近代日本
- 5 教材：授業ワークシート
- 6 本時の目標：
  - ・“Boys be ambitious”という格言について、当時の時代背景やクラーク博士に関する説明を聞いて概要を捉え、現代に合わせた表現に直すことができる。[英語]
  - ・“Boys be ambitious”をほかの格言と比較して、意味の違いを適切に読み取ることができる。[英語]
  - ・多くの支援を活用することにより、自分の指針となるような考えを、短い英文にまとめて表現することができる。[英語]
  - ・近代化を進めた政府の政策（外国人指導者）と時代背景を理解する。[社会]
- 7 学習指導計画：

“Boys be ambitious”と近代日本(本時)
- 8 本時のねらい：日本の開花期と表現される明治という近代日本において、各界に有用な人物を輩出した札幌農学校で教頭として多大な影響をもたらしたW.S.クラークの有名な言葉“Boys be ambitious”は、現在も格言として親しまれている。この言葉は『少年よ、大志を抱け』という訳語が定着しているが、この訳語が現代においてこの表現のまままで良いのかを考え直すことがこの授業の内容である。“Boys be ambitious”を現代の名言として知られるスティーブ・ジョブズの“Stay hungry, stay foolish”と比較し、また社会科教員がクラークの生涯と札幌農学校を必要とした時代的背景を解説することで、“Boys be ambitious”という言葉で伝えようとしていた発言の趣旨を理解し、よりよい翻訳に挑戦する。最後に「自分がクラーク博士だったら、どのようなメッセージを残すか」を考え、英語で表現する活動を行う。

知識をつけることで英語の理解が一層深まるということを生徒に理解させることが本時の最大のねらいであり、そのために英語科と社会科の教員による合科授業を行う。また、最後に行う表現活動において今後の人生の指針となる言葉を考えることで、生徒の自己理解が深まることを期待する。

## 9 学習の流れ（展開）

学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
1. 『小供等よ、此老人の如く大望にあれ』を英語に直す（5分）	ワークシート1の活動を行い、背景知識なしで解釈・表現する難しさを生徒に実感させる。	取り組む姿勢【主】
2. 明治の歴史的出来事や時代感覚を学ぶ。（15分）	ワークシート2～5の部分を使いながら、社会科の教員が当時の世界情勢や日本の歴史の流れを説明し、クラーク博士がどのようなことを行ったのか、札幌農学校にはどのような志を持った学生が集まっていたのかを解説する。	クラークの半生と札幌農学校設立の経緯を通して時代背景を理解する【知・技】
3. “Boys be ambitious”という言葉の訳について考える。（15分） ・スティーブ・ジョブズのメッセージ“Stay hungry, stay foolish”と比較して考える。 ・“Boys be ambitious”の意味は「少年よ、大志を抱け」で良いかを考える。	・ワークシート6を英文を使い“Stay hungry, stay foolish”というスティーブ・ジョブズのメッセージを紹介する。 ・ワークシート7の活動を行う。その際、クラーク博士の発言の状況・意図を考えつつ、Boysは「少年よ」で良いのか、ambitiousは「大志を持った」で良いのかを考え直し、現代風に訳すとどのようになるかを考えさせる。	・発言の場面や時代背景を意識した解釈ができています【思・判・表】 ・意味やニュアンスの違いを適切に読み取れている【知・技】 ・取り組む姿勢【主】
4. 自分だったらどのようなメッセージをのこすかを考え、英語で表現する。その後ペアやグループで共有し発表する。（7分）	ワークシート8の活動を行う。電子辞書の使用を推奨し、自分の言いたいことをよりの確に表現する単語・表現を探すよう指導する。その過程で類語とのニュアンスの違いなどを学ぶ。	・自分の考えを表現できている【思・判・表】 ・取り組みや発表の姿勢【主】
5. 授業のまとめ(5分)		
6. 自己評価を記入(3分)	ワークシートの自己評価欄に記入させる。	自己評価【主】

## 10 評価規準

- ①急速な近代化の進んだ明治日本と当時の人々を動かした時代背景を理解する。[社会]【知識・技能】
- ②英文を比較して、意味の違いを適切に読み取ることができている。[英語]【知識・技能】
- ③“Boys be ambitious”という格言を、当時の時代背景やクラーク博士に関する説明を聞いて概要を捉え、現代に合わせた英語表現に直すことができている。[英語]【思考・判断・表現】
- ④多くの支援を活用することにより、自分の指針となるような考えを、短い英文にまとめて表現することができている。[英語]【思考・判断・表現】
- ⑤時代背景と学習してきた英語表現への理解に努め、あわせて現代にふさわしい表現（英語・日本語）を主体的に探そうとしている。[社会][英語]【主体的に学習に取り組む態度】